第2回 本の甲子園

― 都道府県代表作品 募集要項 ―

❶ 応募資格　応募時点で、応募先の都道府県に在住している作家であること

❷ 募集作品　2025年10月1日～2027年2月28日に刊行された、または刊行予定の日本の小説（※奥付準拠）

・日本十進分類法（図書館で使用される分類）913.6に該当する作品

・紙の書籍として刊行され、ISBNが付与されており、全国の書店等で注文・入手可能な作品
※全国の図書館員に作品をお読みいただく企画のため、全国の書店で注文・入手可能な作品であることを、応募前に出版社等にご確認ください。

❸ 応募期間　**2026年10月20日（火）～2027年2月28日（日）**

❹ 応募方法　**本の甲子園ホームページ（https://www.honno-koshien.com/）に設置されている応募フォームまたは、右記の二次元コードよりご応募ください。**

応募フォーム

❺ 結果通知　都道府県代表作品に選出された方にのみ、4月下旬以降に電話でご連絡します。
選考状況や選考結果に関する個別のお問い合わせには、お答えできません。

❻ 選考の流れ（※選考は2027年3月～10月に実施予定です。進行状況は、公式サイトやSNSで随時お知らせします。）

都道府県代表作品選考 3月～4月（予定）	都道府県代表作品発表 6月（予定）	トーナメント戦による選考 6月～9月（予定）	大賞作品決定 10月（予定）
応募作品から、各都道府県の代表を1作選出します。	47都道府県の代表作品を公式サイト・SNS等で発表します。	都道府県代表作品によるトーナメント戦を行います。	準決勝・決勝戦を行い、大賞作品を決定します。

選考基準

全国から集まった図書館員が選考委員となり、「出会いを感じ、図書館員として誰かにおすすめしたいと思った作品」を選考します。

❼ 注意事項（裏面のQ&Aもあせてご覧ください。）

応募について

・応募は作家本人による自薦に限ります。都道府県代表作品に選出された場合は、在住する都道府県名を公表します。

・応募後は、原則としてエントリーの取り下げ、選考期間中の辞退はできません。あらかじめご了承のうえ、ご応募ください。

・本企画は、図書館・書店・作家が連携し、地域の読書文化を盛り上げることを目的としています。都道府県代表作品に選出された場合は、図書館や書店が開催するイベントへの出演、サインの提供等に、可能な範囲でご協力ください。

・エントリー時に自動返信メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダ等をご確認のうえ、事務局までお問い合わせください。

・応募者の個人情報は適切に管理し、本企画の運営以外の目的には使用しません。

応募作品について

・文庫作品は、文庫オリジナル作品のみ対象です。

・複数の作家による作品を収録した書籍は対象外です。

・対象期間より前に刊行された作品の改題版、増補版、新装版、復刊作品は対象外です。

・応募要件を満たさない作品は、選考の対象外となります。個別にご連絡はいたしません。

お問い合わせ：本の甲子園実行委員会事務局　info@honno-koshien.com

― 都道府県代表作品Q＆A ―

Q.　ペンネームで応募できますか。

A.　ペンネームで応募できます。応募フォームには、本名とペンネームの両方をご入力ください。公表時はペンネームを使用します。

Q.　出身地と現在の居住地が異なる場合は、どちらから応募しますか。また、応募後に転居した場合はどうなりますか。

A.　応募時点で在住している都道府県からご応募ください。出身地や作品の舞台となった地域からは応募できません。応募後に都道府県をまたぐ転居をした場合も、エントリー時点の都道府県の作品として選考します。転居した場合は、事務局までご連絡ください。

Q.　自費出版した作品も応募できますか。

A.　ISBNが付与されており、全国の書店等で注文可能・入手可能であればエントリーできます。ただし、オンデマンド出版による作品は、選考時の入手のしやすさを考慮し、対象外とします。

Q.　電子書籍のみで刊行された作品も応募できますか。

A.　電子書籍のみで刊行された作品は対象外です。本企画では地域の図書館や書店との連携を重視しているため、応募は紙の書籍として刊行された作品に限ります。

Q.　シリーズ作品や上下巻等の作品は、どのように応募すればよいですか。

A.　作品の構成により、次のように取り扱います。

▶シリーズ作品

対象期間内にシリーズの新刊が刊行されている場合は、シリーズが完結していなくても、最新刊またはシリーズ第1作のいずれかを応募できます。

▶上下巻等、複数巻で一つの物語を構成する作品

応募時点で全巻が刊行され、物語が完結しており、かつ、そのうち1巻以上が対象期間内に刊行されている場合は、全巻を合わせて1作品として応募できます。

Q.　「出会いを感じ、図書館員として誰かにおすすめしたいと思った作品」とは、どういう意味ですか。

A.　作品との出会いを通して心を動かされ、「誰かにも読んでほしい」と感じた作品を指します。選考委員一人ひとりの読書体験や、図書館員として「この作品を読者へ届けたい」という思いを重視した選考基準となっています。

ご不明な点がありましたら、事務局までお問い合わせください。